

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部	
1・ハード対策の主な取組																				
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																				
	①堤防整備等	クサンル川、頓別川、北見頓別川にて河川改修事業、オチウシナイ川、タネンナイ川、ボロニョ川にて砂防事業を実施。河道内の掘削及び伐木を増規川、鬼志別川、狩別川、頓別川、兵知安川、北見頓別川、ペンケナイ川、徳志別川、フーレップ川、音標川にて実施。				クサンル川の早期改修を要望した。													タネンナイ川上流部砂防ダムの新設及び既存ダムと流水路堰堤の補強等の工事継続実施。	
■危機管理型ハード対策																				
	①堤防天端の保護	北見頓別川にて天端舗装工事を実施。																		
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築	・防災研修や会議の場で北海道防災情報システムや防災情報メール、スマホ版「川の防災情報」等について幅広く周知を行った。																		
	②洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	プッシュ型の洪水予報等の情報発信について情報収集等を行った。				「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知サービスを気象庁の協力の下で民間協力事業者が開始。スマートフォンのアプリやメール等でお知らせする。(R1.7~)														
	③高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより充実を図る。						緊急告知防災ラジオの活用を行った。	令和3年度において整備した防災行政無線の運用を開始。併せて登録制配信メールや防災アプリ等を利用し、情報伝達の強化を図る。	防災行政無線の戸別受信機を全世帯に配布・運用の継続。	防災無線の全戸配布を目標とし、普及啓発を実施。転入者来庁時及び旬報等	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。	防災ラジオ・IP告知端末の効率的活用。							昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。防災ラジオ導入の検討。
	④水防拠点の整備	北見頓別川(枝幸町下頓別地区)の資材ヤード整備を実施。																		
	⑤迅速な水防活動を支援するための水防資機材の整備	水防資機材の点検、配備を行った。	関係機関の資機材保有状況を防災情報システムで共有。			H29に整備した土のうステーション等の管理運営を行った。	昨年度に引き続き、消防団単位で資機材を配備。	河川付近に資機材の配備を検討。	役場庁舎用大型水蓋及び排水ポンプ導入。	昨年度に引き続き、河川付近に資機材の配備を検討。	昨年度に引き続き、消防団単位で資機材を整備。	昨年度に引き続き、小型排水ポンプを整備、操作訓練実施。								
	⑥SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティFM等の様々な情報伝達手段の整備	昨年度に引き続き、関係機関と連絡体制を確認。					SNSの利活用について検討を行った。	防災行政無線整備に伴い情報伝達の運動性の強化を図る。(登録制配信メール、防災アプリ、SNS連携)	防災行政無線の戸別受信機を全世帯に配布・運用の継続。	防災無線の全戸配布、防災メールの普及啓発を実施。	・多様な情報伝達手段の確保及び利活用を検討。 ・全戸配付のIP告知端末の欠点(自己給電機能なし)を補う等、情報伝達手段の強化を検討。	昨年度に引き続き、多様な情報伝達手段の確保及び利活用を検討し、登録制メールの機能を改善。	防災ラジオ・IP告知端末の効率的活用。SNSやスマホアプリの効率的活用の検討							防災ラジオの導入にかかる電波調査の実施及び中継局等建設の検討。
	⑦避難場所の明確化(避難誘導のための看板設置等)に関する取組を行う					ピクトグラム化した避難所及び避難場所の看板の維持管理を行った。	昨年度に引き続き、避難場所の看板を設置。(新たな避難場所の指定予定はないため設置なし)	引き続き、避難誘導看板の設置を検討。	検討中	昨年度に引き続き、避難誘導看板の設置を検討。	避難誘導看板の設置を検討	防災教室や広報を活用した、防災意識の醸成。								避難所、避難場所の変更が生じた際に、随時移設を検討。

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合 消防本部	利尻礼文消防事務組合 消防本部	南宗谷消防組合 消防本部	
2.ソフト対策の主な取組																				
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																				
■情報伝達、避難計画等に関する事項																				
		①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへの反映	洪水浸水想定区域図(Info)により作成及び提供を実施。 (クサンル川、ウエンナイ川、二の沢川、声間川、タツニウシユナイ川、増鏡川、イチャナイ川、ケナシボロ川、知来別川、鬼志別川、猿骨川、エコベ川、タンネベナイ川、猿払川、狩別川、ニタチナイ川、一号線川、頓別川、クツチャロ川、エボト川、ウソタンナイ川、宇津内川、豊寒別川、平賀内川、兵知安川、知駒内川、エサシウエンナイ川、北見鏡別川、ケモマナイ川、ハンケナイ川、ペンケナイ川、四線川、オムロシュベツ川、徳志別川、ペンケカヨナイ川、フルレツ川、音標川、タネンナイ川、大沢川)			作成した洪水ハザードマップを踏まえ、避難所等の見直しの検討および地域防災計画への反映を行った。	地域防災計画の改定、ハザードマップ更新の実施、検討。	地域防災計画の全面改訂を実施。	最大想定ハザードマップの全戸配布、Webハザードマップの公開	令和元年度水害ハザードマップ作成済み。 令和2年度地域防災計画改定済み。	洪水氾濫危険区域図に基づく、地域防災計画見直し、ハザードマップ作成を検討。	必要に応じて見直しを検討。	地域防災計画見直し、ハザードマップ作成を検討。							
		②道路管理者との連携により避難経路を検討	工事による道路の通行止め情報の提供を実施。	各自治体の避難行動計画等の作成時に協力可能。		令和元年度及び令和4年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域図をもとに避難経路の検討を行った。	避難行動マニュアルを継続して検討。	避難経路等について継続して検討。	避難経路等の確認、検討。	避難経路等について確認、検討。	避難経路等について確認、検討。	避難経路等について継続して検討。	避難経路等の確認、検討。							
		③避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成および支援	・タイムライン設定のために必要な情報を提供する。	国直轄河川の先行事例について情報提供し、タイムラインの作成支援を継続。	避難指示等の発令に着目したタイムラインへの見直し支援を計画していたが、令和5年3月現在で提示が無いため未対応。	ウエンナイ川以外の河川のタイムライン作成を検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について引き続き検討。	作成したタイムラインの運用、見直し、調整、住民周知。	作成したタイムラインの運用、見直し、調整。	令和元年度に作成した水害ハザードマップに掲載し、住民に周知済み。 タイムライン見直しに係る検討。	避難情報の発令に着目したタイムラインを検討。	避難勧告着目タイムラインの作成。	避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成検討。							
		④タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	「災害応急対策に係る訓練」を実施。	タイムラインを活用した避難訓練の支援を継続。	タイムラインの精度向上に向けた作業の支援及び避難訓練への参画を計画していたが、令和5年3月現在で提示が無いため未対応。	タイムラインを活用した訓練等の実施の検討を行った。	タイムライン作成後に検討。	タイムラインを活用した訓練等を実施。	訓練等実施できていない。	タイムラインを活用した訓練の実施。	タイムラインを活用した訓練の実施を検討。	タイムラインを活用した訓練の実施。	タイムラインを活用した訓練の実施。				未実施	関係機関との連携により訓練等を実施。	関係機関との連携により訓練等を実施。	
		⑤各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について後場職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し	市町村における避難指示等の判断・伝達マニュアル作成を支援。	市町村の防災会議に参加、計画策定、見直しについて支援。	利尻町および礼文町の地域防災計画の見直しについて支援を実施。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しを行った。	職員初動マニュアルの見直しの実施。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直し。	令和2年度に地域防災計画改定済み。職員初動マニュアルの見直しを検討。	避難情報の発令判断・伝達マニュアル改訂を実施。	職員防災教育の実施。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直し。								
		⑥農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	洪水対応訓練において、酪農地帯や要配慮者利用施設等の避難対策を含めての実施を検討。	タイムラインの精度向上を踏まえた訓練等の参加、協力。		要配慮者利用施設等から避難場所等の相談に対応した。	昨年度に引き続き、酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促す。	昨年度に引き続き、酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促す。		防災組織の結成を促す。								
		⑦住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる。	洪水対応訓練において、酪農地帯や要配慮者利用施設等の避難対策を含めての実施を検討。	マイタイムライン作成に関する講習会等の参加、協力。		マイタイムライン作成をサポートするための取組について検討した。	昨年度に引き続き、酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促す。	関連課と連携しマイタイムラインの普及を検討。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促す。										

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
2-ソフト対策の主な取組																			
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																			
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項																			
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	洪水浸水想定区域図(1/10)により作成及び提供を実施。 クサンル川、ウエンナイ川、ニの沢川、青間川、タツノウシュナイ川、増穂川、イチャンナイ川、ケナンボロ川、知来別川、鬼志別川、猿倉川、エコペ川、タンネナイ川、猿払川、狩別川、ニタチナイ川、一巻線川、頓別川、クッチャロ川、エボト川、ウソタンナイ川、宇津内川、豊島別川、平賀内川、兵知安川、知駒内川、エサシウエンナイ川、北見橋別川、ケモマナイ川、ハンケナイ川、ペンケナイ川、西線川、オムロシベツ川、豊志別川、ペンケガヨナイ川、フールップ川、音標川、オホニキ川、オホ川																
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいたハザードマップの作成と周知	道管理河川について浸水想定区域図を作成し、関係自治体に提供を実施。	ハザードマップ作成を支援。		洪水ハザードマップを市民に周知し、令和4年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域図をもとにハザードマップの改修を行った。	ハザードマップの配布。	ハザードマップ等のデータ更新を検討。	最大想定ハザードマップの全戸配布及びwebハザードマップの周知。	・令和元年度に作成済み。 ・浸水想定区域図内全戸にハザードマップ配布。 ・町ホームページへの掲載による住民周知の実施。	洪水氾濫危険区域図に基づくハザードマップの作成を検討。	新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づくハザードマップを作成。	転入者等に対するハザードマップの周知。						
		③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまちごとハザードマップの作成と周知	ハザードマップ作成のための浸水想定区域図等を関係自治体に提供を実施。	ハザードマップ作成を支援。	ハザードマップ等の作成のための支援を計画していたが、令和5年3月現在で提示が無く未対応。	まちごとハザードマップの必要性を検討した。	ハザードマップの配布。	まちごとハザードマップ作成を検討。	検討中	継続してまちごとハザードマップ作成を検討。	昨年度に引き続き、まちごとハザードマップの作成を検討。	継続してまちごとハザードマップ作成を検討。	まちごとハザードマップ作成の検討。						
		④小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	学校及び市町村で実施される「1日防災学校」等の防災教育の取組への協力・支援を実施。	国直轄河川で先行している情報入手し、防災教育に関する資料収集や情報提供を行う。	稚内高校において「大雨洪水から身を守る」をテーマに防災講話を実施した。(小中学生対象では未実施)	出前講座を通じて、小学生へ水防に係る啓発を行った。	昨年度に引き続き、防災教育情報を提供。	防災教育の促進を継続実施。	小学校、中学校において防災教室を実施。	・令和3年度、1日防災学校実施時に情報提供。 ・引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	昨年度に引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	昨年度に引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	避難訓練に合わせた防災講話を実施。	避難訓練に合わせた防災講話を実施。	積極的に防災訓練に参加し、防災対応力の向上を図った。	未実施	引き続き避難訓練に合わせた防災講話を実施。	避難訓練に合わせた防災講話を実施。	
		⑤関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施	自主防災組織等において、地域防災の核となる地域防災リーダー等の人材の育成を実施。(DOは講師養成研修等)	水防意識向上のための講習会として出前講座メニュー「防災の基礎知識と災害支援について」に登録。	(宗谷総合振興局)稚内建設管理部技術職員研修の中で、過去の洪水事例を取り上げるなど、関係機関職員・住民向けの講話を実施した。	出前講座や防災訓練を通じて、関係機関の職員や住民を対象に水防に係る啓発を行った。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	・津波・地震を主対象とした避難訓練に水防を加えた防災教育を実施。 ・自主防災の核となる地域防災リーダー養成講習を実施。人材を確保。	効果的な訓練実施を検討。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	未実施	昨年度に引き続き、防災訓練への参加、協力を実施。	防災訓練への協力を検討。	
		⑥防災無線やホームページ等を活用した住民の水防意識啓発のための広報の充実	開設済みの「ほっかいどうの防災教育」ポータルサイトについて、幅広く啓発を実施。	過去に発生した災害対応やTEC-FORCE活動について情報提供。		ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発した。	昨年度に引き続き、防災行政無線、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	昨年度に引き続き、ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	昨年度に引き続き、ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	昨年度に引き続き、ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	昨年度に引き続き、ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	昨年度に引き続き、IP告知端末、広報紙、HP等を活用して啓発。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	関係機関と協力して対応を図った。	昨年度に引き続き、関係機関と協力して対応。	広報誌を活用して啓発。

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合 消防本部	利尻礼文消防事務組合 消防本部	南宗谷消防組合 消防本部				
2-ソフト対策の主な取組																							
② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組																							
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																							
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	未実施。	共同点検は無かったが、助言等の支援を継続。	水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施について検討した	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	出水期前に点検を行う。	未実施	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。									
		②関係機関が連携した広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を実施	未実施。	水防訓練は無かったが、関係機関と連携し、災害対策用機械等の紹介や支援体制について引き続き周知を継続。	水防訓練への参加検討を行った。	昨年度に引き続き、水防訓練の実施を検討。	・水防訓練に参加。 ・関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。	未実施	昨年度に引き続き、関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。	関係機関、住民と連携した水防訓練の実施を検討。	・水防訓練に参加。 ・昨年度に引き続き、関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。		本年度については水防訓練には参加できず	本年度については水防訓練には参加できず	本年度については水防訓練には参加できず	未実施	水防訓練へ参加。	訓練への参加を検討。					
		③広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、迅速な水防活動を支援するため、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る	水防資機材の確保が必要な地域を自治体と検討。	各事務所、道の駅などに配備している資機材を情報共有システムにて共有。	必要とされる水防資機材やその保管場所について検討を行った。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。	水防資機材の充実を図る。	必要資機材を関係機関と検討。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。												
		④的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団(消防団)員数の確保を図る	消防庁の「消防団加入促進キャンペーン」期間(1~3月)にあわせて、市町村とともにポスターの掲示及び加入促進活動を実施。		消防団員の拡充を推進した。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。						組合構成市町村と連携し、消防団員募集の取り組みを継続的に実施した。広報紙掲載やポスター掲示、ラジオなど、周知活動を実施した。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充について自治体と連携して取組。	広報誌掲載やポスター掲示により、消防団員の確保に努めた。				
		⑤自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	4月実施の全道振興局防災係長会議等において、災害派遣要請の調整方法を確認。		災害派遣要請の調整方法を確認した。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。												
		⑥水防団(消防団)間での連携、協力に関する検討			防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図った。	昨年度に引き続き、防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。	防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。	昨年度に引き続き、防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。	昨年度に引き続き、防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。	昨年度に引き続き、防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。	昨年度に引き続き、防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図る。												
		⑦市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組を行う	市町村が実施する防災訓練に道の訓練担当職員を派遣し、企画等の支援を実施。	防災対応に係るサポートを継続。	内閣府の「避難情報に関するガイドライン」を基本に気象台が発表する防災気象情報に基づく地方公共団体の防災対応を模擬体験していただく「気象防災ワークショップ」を計画していたが、令和4年度は実施できなかった。	他機関の水防訓練を通じ、防災担当職員の防災力向上に努めた。	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。	未実施	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。						積極的に防災訓練に参加し、防災対応力の向上を図った。	積極的に防災訓練に参加し、防災対応力の向上を図った。	積極的に防災訓練に参加し、防災対応力の向上を図った。	未実施	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。	継続して取組を行い職員の防災力向上を促進。	
		⑧市町村向け川の防災情報による河川水位や排水設備等情報の共有	水位周知河川に指定されていない河川で特に必要と認める河川(クサンル川)において、河川水位等の情報を提供を実施。	河川水位の情報を「川の防災情報」HPを通じて公表、防災情報共有WANIによる防災情報の共有。	避難指示の判断及び発令の目安となる流域雨量指数の予測値をもとにした洪水注意報・警報、気象情報を発表。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。	昨年度に引き続き、「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。	昨年度に引き続き、「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。	昨年度に引き続き、「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。	昨年度に引き続き、「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。							市町村担当者との情報共有や連絡体制の確立に努めた。	市町村担当者との情報共有や連絡体制の確立に努めた。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報を共有に努めた。	市町村向け川の防災情報から必要な情報を取得し、関係部署で共有を図った。	昨年度に引き続き、「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有。
		⑨想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	浸水想定区域図を関係自治体に提供を実施。	水防計画見直しによるハザードマップ等の作成支援を継続。	水防計画の見直し等支援を計画していたが、令和4年3月現在、提示が無いため未対応。	令和4年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域図を踏まえ水防計画の見直しの検討を行った。	浸水想定区域図やハザードマップに基づいた水防計画の見直しを実施。	浸水想定区域図やハザードマップに基づいた水防計画の見直しを実施。	浸水想定区域図やハザードマップに基づいた水防計画の見直しを検討。	浸水想定区域図やハザードマップに基づいた水防計画の見直しを検討。	浸水想定区域図やハザードマップに基づいた水防計画の見直しを検討。												

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区 消防事務組合 消防本部	利尻礼文 消防事務組合 消防本部	南宗谷消防 組合消防本部	
2.ソフト対策の主な取組																				
② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組																				
■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項																				
		① 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進				令和元年度及び令和4年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえ、拠点施設に対し、水害リスクに係る情報提供するための手法を検討した。	水害リスクについて情報共有を図る。	浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供し耐水化を検討。	昨年度に引き続き、浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供し耐水化を検討。	昨年度に引き続き、浸水想定区域内の拠点施設に対し情報提供し耐水化を検討。										
		② 大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進				洪水ハザードマップの周知及び自衛水防の取組推進に向けた検討を行った。	水害リスクについて情報共有を図る。	浸水想定区域内の大規模工場が存在しないため未実施。												
■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組																				
		① 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	氾濫域を考慮した排水計画検討のための資料収集等を行った。	各自治体のハザードマップを収集。		令和元年度及び令和4年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえ、排水計画作成に向けた検討を行った。	昨年度に引き続き、既設排水系統について関係機関と共同して排水計画の作成を検討。	既設排水系統等について関係機関と共同して排水計画の作成を検討。	既設排水系統等について関係機関と共同して排水計画の作成を検討。	昨年度に引き続き、既設排水系統等について関係機関と共同して排水計画の作成を検討。										
		② 訓練を通じ、排水ポンプ車等の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	WEB会議形式で協議を開催。	災害対策用機械等の出動要請に係る調整方法や支援体制を継続。		・関係機関と連絡体制の確認を行った。 ・関係機関と連携した排水訓練を検討した。	昨年度に引き続き、関係機関と連絡体制の確認を行う。	・関係機関と連絡体制の確認を行う。 ・関係機関と連携した排水訓練を検討。	関係機関と連携した排水訓練を検討。	・関係機関からの情報提供による対策車両の検討。 ・昨年度に引き続き、関係機関と連絡体制の確認を行う。 ・関係機関と連携した排水訓練を検討。										
■ 要配慮者利用施設等の自衛水防の推進に関する取組																				
		① タイムラインを活用した要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の実施及び要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援	市町村担当者に避難確保計画の作成等について周知、指導、助言等の支援を行う。	避難確保計画作成や避難訓練等に向けた支援を継続。		要配慮者利用施設が行う情報伝達訓練、避難訓練の支援および避難確保計画作成に向けた支援を行った。	タイムラインを活用した要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練、避難訓練の検討、避難確保計画作成に向けた支援の検討、実施。	タイムラインを活用した要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練、避難訓練の検討、実施。	タイムラインを活用した要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練、避難訓練の検討、実施。	・タイムラインを活用した要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練、避難訓練の検討。 ・令和2年度、避難確保計画作成済み。										
		② 要配慮者利用施設等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	市町村の要配慮者利用施設等への浸水リスク説明、水害対策等の啓発活動を適宜支援。	出前講座や広報資料の提供等により水害対策等の啓発活動を継続。		関係各課と連携して、要配慮者利用施設における避難確保計画策定を支援した。	浸水想定区域内の要配慮者利用施設と関係各課との情報共有を図る。	要配慮者利用施設避難計画策定支援を関係各課と連携して検討。	昨年度に引き続き、関係機関と連携して要配慮者利用施設を訪問し、避難計画策定を啓発。	令和2年度、避難確保計画作成済み。										

# 令和4年度(2022年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区 消防事務組合 消防本部	利尻礼文 消防事務組合 消防本部	南宗谷消防 組合消防本部
③ その他																			
■災害対応に関する事項																			
		①災害時及び災害復旧に対する支援強化	・異常気象等により被害発生等のおそれがある場合に、危機管理会議を開催する等、市町村及び関係機関との情報共有を実施。 ・被害等の発生状況によっては、地域支援職員(リエゾン)を派遣する等、情報の収集及び提供を行った。	自治体とのホットライン(幹部・防災担当)構築、各防災機関との連絡体制確認、リエゾン派遣による情報収集等を行う。	大雨が予想され災害発生の恐れがある場合に、市町村及び関係機関と情報共有を実施。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有を図った。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。
		②災害情報の共有体制の強化	「防災情報に関する打合せ会」等の場で、関係機関との情報共有を実施。	防災情報に関する打合せなどに参加。	振興局との共催により、「防災情報に関する打合せ会」を開催。(対面およびオンライン)	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会への参加と関係機関への情報の共有を図った。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、毎年、災害情報を共有するよう努めた。	昨年度に引き続き、協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図る。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。